

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成29年7月20日(木) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

発表事項

1. 文部科学省平成29年度EDGE-NEXTに採択
早稲田大学主幹コンソーシアムが次世代アントレプレナー育成に向けて始動
2. シンポジウム「イタリア人の視点から見た日本の能・狂言の魅力」開催
3. SCITAセンター学生スタッフが子どもたちの自由研究をサポートします

お知らせ

1. 山形大学文化ホールで<キャンパスコンサート2017>を開催します
2. 「山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラム」短期受入れ研修を実施します
3. 高校生対象特別プログラム 『生物の多様性を考える』を開催します
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
4. 「夏だ！科学体験教室」を開催
5. 山形大学農学部「研究シーズ集2017」刊行のお知らせ

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成29年8月3日(木) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

学長定例記者会見(7月20日)発表者

1. 文部科学省平成 29 年度 EDGE-NEXT に採択

早稲田大学主幹コンソーシアムが次世代アントレプレナー育成に向けて始動

国際事業化研究センター センター長

学術研究院 教授・理事特別補佐

おの であら だけし
小野寺 忠司

たかはし たつひろ
高橋 辰宏

2. シンポジウム「イタリア人の視点から見た日本の能・狂言の魅力」開催

学術研究院 教授(日本文学)

学術研究院 准教授(附属博物館学芸研究員)

やまもと はるふみ
山本 陽史

さとう こと
佐藤 琴

3. SCITA センター学生スタッフが子どもたちの自由研究をサポートします

理学部物質生命化学科2年

理学部物質生命化学科2年

きくかわ れいな
菊川 玲奈

さし あおい
佐治 葵

平成29年7月20日
山形大学

文部科学省平成29年度 EDGE-NEXTに採択 早稲田大学主幹コンソーシアムが次世代アントレプレナー育成に向けて始動

山形大学は、従来から行ってきたアントレプレナー育成を地域創生に向けて本格的に行うため、アントレプレナー育成で実績のある小野寺忠司氏（元NECパーソナルコンピュータ執行役員）を、国際事業化研究センター長として2017年4月に招聘し、体制を強化してきました。さらに本学のこの取り組みを強化・加速させるため、このたび、早稲田大学を主幹校とし、滋賀医科大学、東京理科大とともに、文部科学省 次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）に共同申請し、採択されました。

山形大学では、ものづくりで事業化までできる独自の体制・設備を活用して、本格的創業支援・新規事業支援パッケージを開発することで、インストラクターの育成、アントレプレナーの輩出を図ります。さらに、主幹校である早稲田大学をはじめ、会津大学や関連機関との協力により、南東北地域のベンチャー・エコシステムのハブを形成し、地域活性化を先導してまいります。

【本コンソーシアムの特長】

本コンソーシアムでは、EDGEプログラム^{*1}での成果を基盤に、参加機関の強みや国内外の産学官の英知を結集して、専門的基礎能力を有し、鋭利な発想、体系的な方法論により新たな市場を開拓します。「グローバルリーダー」、「地域貢献」を体現するアントレプレナー人材のすそ野拡大に向けた「Future-EDGE人材」と、実際の起業・新規事業創出に向けた「EDGE-NEXT人材」を文理融合で養成します。

本事業の特長は、①欧米アジア及び国内へのダイナミックなプログラム展開、②医工などの分野特化型および美大との連携によるラピッドプロトタイピング手法^{*2}を導入したリーンスタートアップ開発^{*3}、コーチング導入などによる教育プログラム高度化、③本格起業前に腕試し的な経験を積むことができるインターンシッププログラムによる入口強化、ベンチャーキャピタル等から大型資金調達を実現するまでの創業支援による出口強化などです。これらの取り組みを通じて、各機関が世界を惹きつけるアントレプレナー育成拠点（エコシステムハブ）となり、日本のベンチャー・エコシステム構築に寄与し、「失敗を恐れず、前進する起業文化」の醸成に貢献することを目的としています。

- ・ 協働4大学+31協力機関の新結合による先鋭的プログラム
- ・ 理工系・文系・医療系・芸術系など多様な専門分野を持つ大学の連携
- ・ 5年間で合計5,200人の多数の受講目標
- ・ 地域連携：山形、富山、滋賀、北九州など 全国にハブ形成
- ・ 海外連携：欧・米・アジアでのネットワーク構築

（お問合せ先）

国際事業化研究センター センター長 小野寺 忠司

電話 0238 26 3480

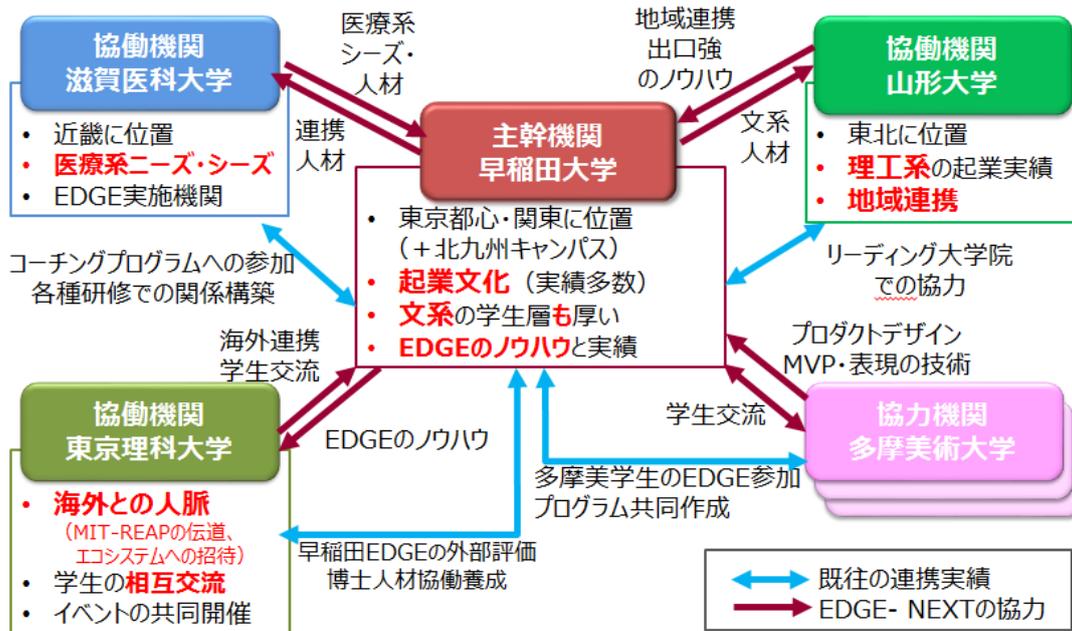
Mail big_i@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

学術研究院 教授・理事特別補佐 高橋辰宏

電話 0238 26 3585

Mail effort@yz.yamagata-u.ac.jp

図：EDGE-NEXT実施コンソーシアムの体制と相互補完性



図：全国のEDGE-NEXTハブ形成とグローバル展開



【EDGE-NEXTとは】

次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT：Exploration and Development of Global Entrepreneurship for NEXT generation）は、EDGE プログラム^{※1}に採択された大学をはじめ、これまで各地の大学で取り組まれてきたアントレプレナー教育で得られた成果や課題を踏まえて、大学等の研究開発成果を基にした起業や新事業創出に挑戦する人材の育成、関係者・関係機関によるベンチャー・エコシステムの構築を目的としています。今回の公募には、12件が応募し、うち5コンソーシアムが採択されました。

※1 **EDGEプログラム**：文部科学省平成26年度グローバルアントレプレナー育成促進事業（EDGEプログラム）。我が国におけるイノベーション創出の活性化のため、大学等の研究開発成果を基にしたベンチャーの創業や、既存企業による新事業の創出を促進する人材の育成と関係者・関係機関によるイノベーション・エコシステムの形成を目的とする。平成26年度から平成28年度にかけて全国13大学で実施された。

※2 **ラピッドプロトタイピング手法**： 短期間で製品試作を行うこと。

※3 **リーンスタートアップ**：アメリカの起業家エリック・リース氏が2008年に提唱した、起業や新規事業などの立ち上げのためのマネジメント手法。リーンとは日本語で「ムダがなく効率的」という意味。最低限のコストと短いサイクルで仮説の構築と検証を繰り返しながら、市場やユーザーのニーズを探り当てていく手法を指す。

EDGE-NEXT 次世代アントレプレナー育成事業

山形大学 国際事業化研究センター
センター長
小野寺 忠司

1

EDGE-NEXT とは

次世代アントレプレナー育成事業 「EDGE-NEXT人材育成のための共創エコシステムの形成」

EDGE プログラム
グローバルアントレプレナー育成促進事業
H26年～H28年（13大学）

早稲田大学

滋賀医科大学 ……

学生、若手研究者向け
起業マインド育成
イノベーションエコシステム形成

EDGE-NEXT コンソーシアム

次世代アントレプレナー育成促進事業
H29年～H33年（5団体/12団体中）

協働機関 1
滋賀医科大学

協働機関 2
東京理科大学

共創エコシステム

主幹機関
早稲田大学

協働機関 3
山形大学

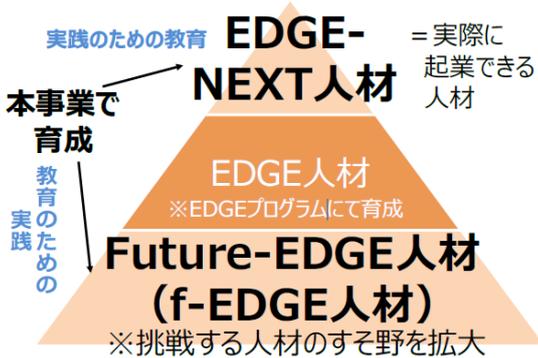
協力機関 (31)

起業挑戦者向け
人材育成
ベンチャー創出エコシステム構築

2

教育理念・人材育成目的

「グローバルリーダー」、「医工連携」、「地域貢献」を体現するアントレプレナー人材のすそ野拡大に向けた「Future-EDGE人材」と、実際の起業・新規事業創出に向けた「EDGE-NEXT人材」を文理融合で養成



EDGE-NEXT人材 ⇒ 実勢のための教育

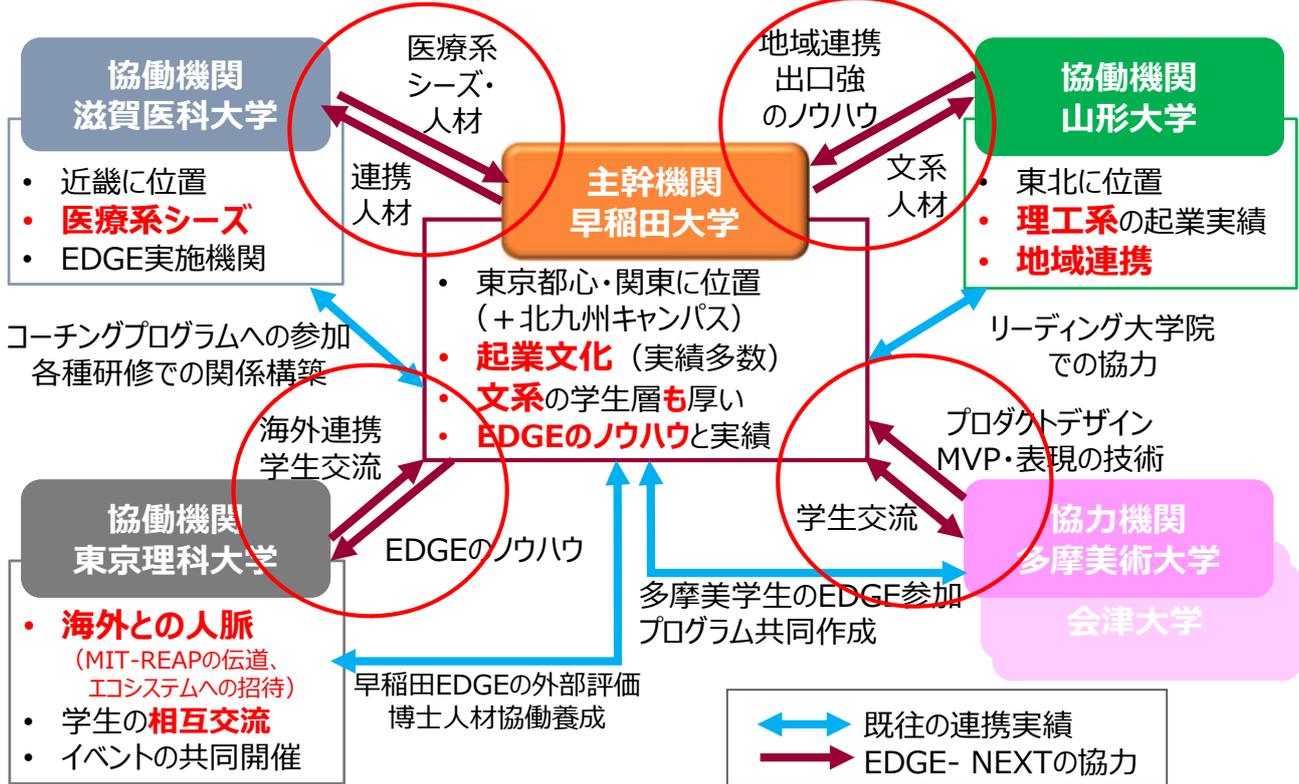
- ・実際に起業、社内新規事業創出を実現できる人材
- ・大学院生、若手研究者を対象に異分野融合、分離融合により育成

Future-EDGE人材 ⇒ 教育のための実践

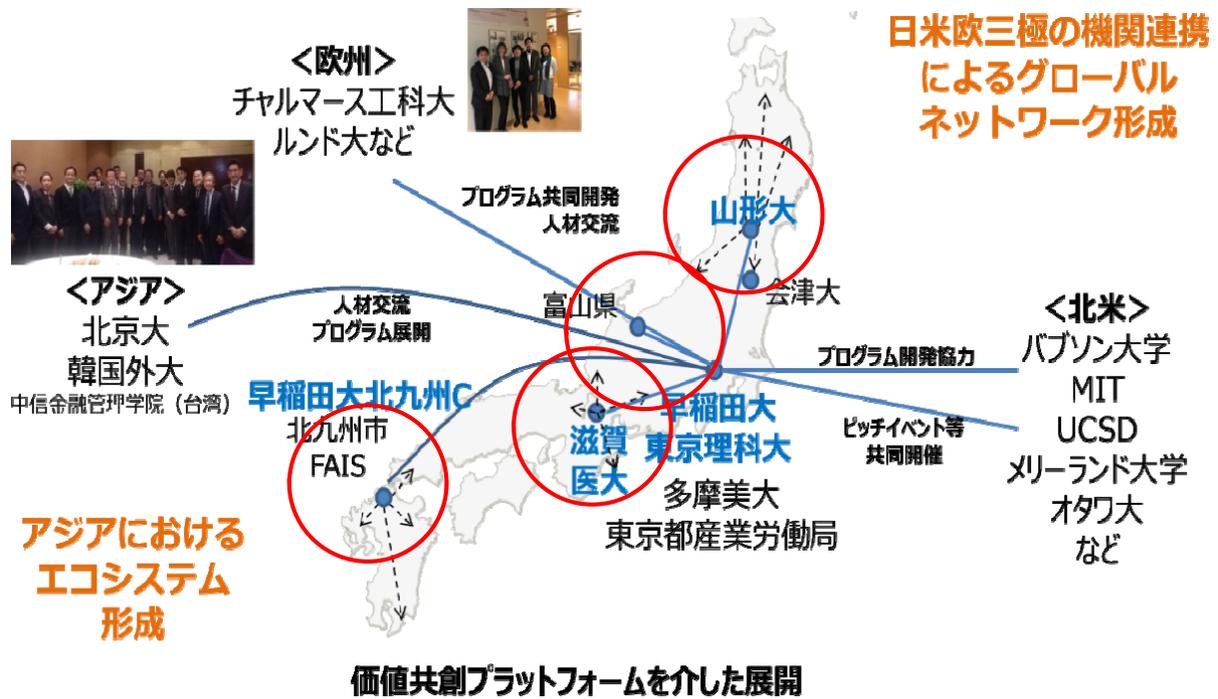
- ・将来起業、社内新規事業創出を担う候補生
- ・主に学部学生向けに、地域課題解決やインターンによるPBL教育など正規科目を中心に教育

EDGE-NEXT コンソーシアムの体制と相互補完

理工系・文系・医療系・芸術系など多様な専門分野を持つ大学の連携

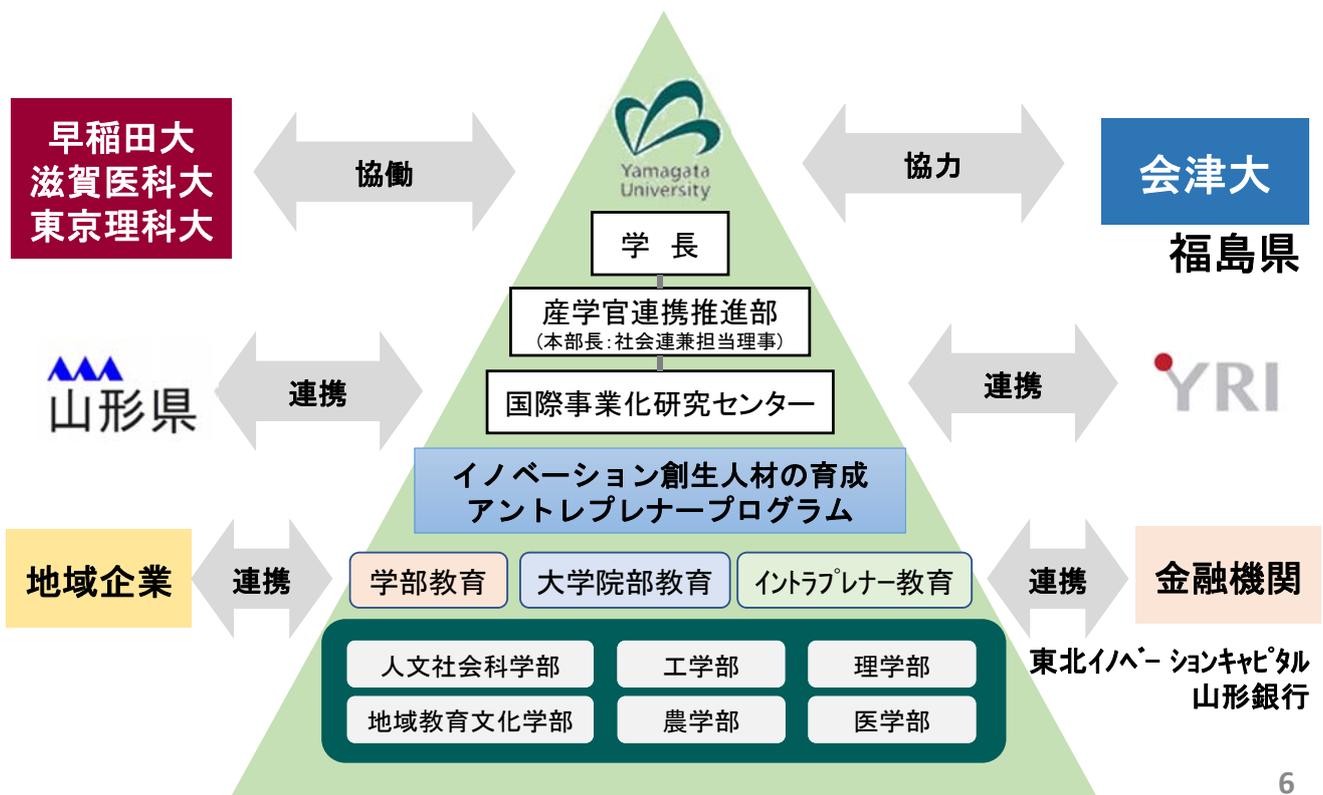


地域拠点による地方創成で、ベンチャー・エコシステムのハブを形成
海外連携による先進的な知見の輸入と展開、国際競争力の強化



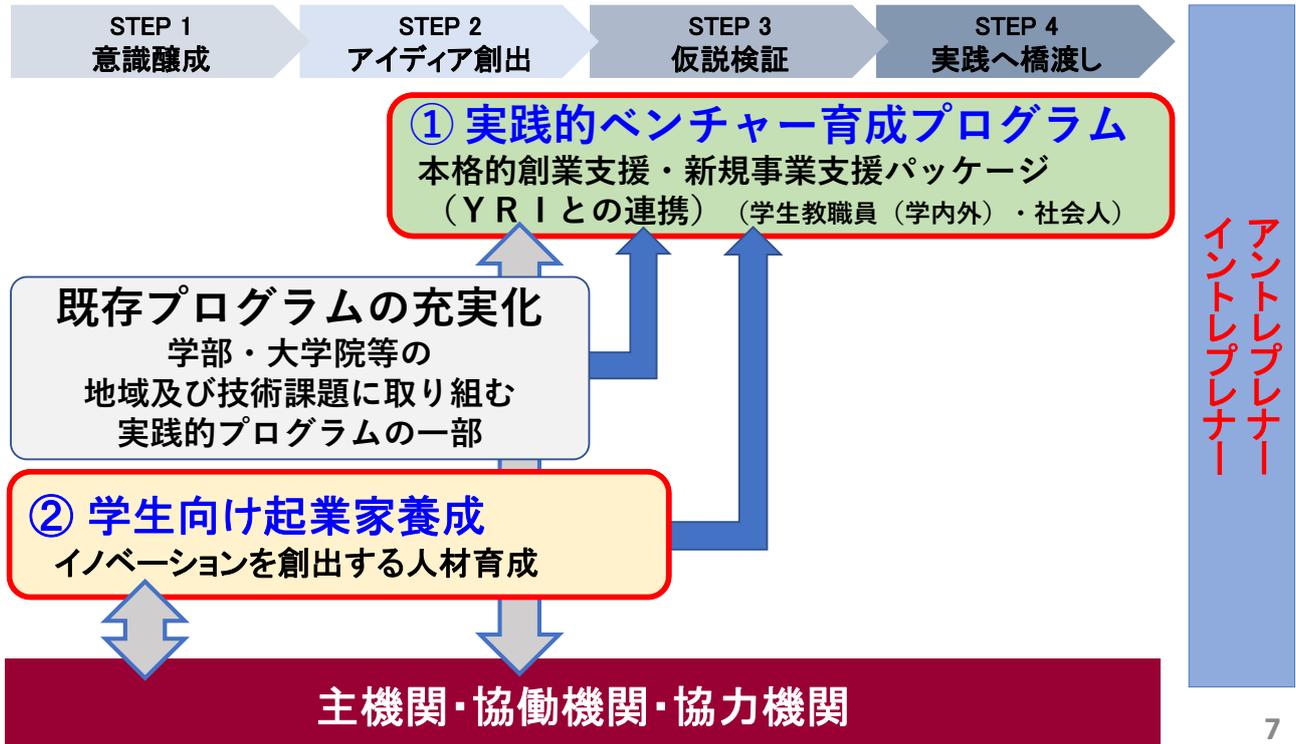
山形大学の体制 (対象: 学生教職員 (学内外)・社会人等)

産学官金で連携し、山形・福島・南東北から、イノベーションを起こす人材を育成



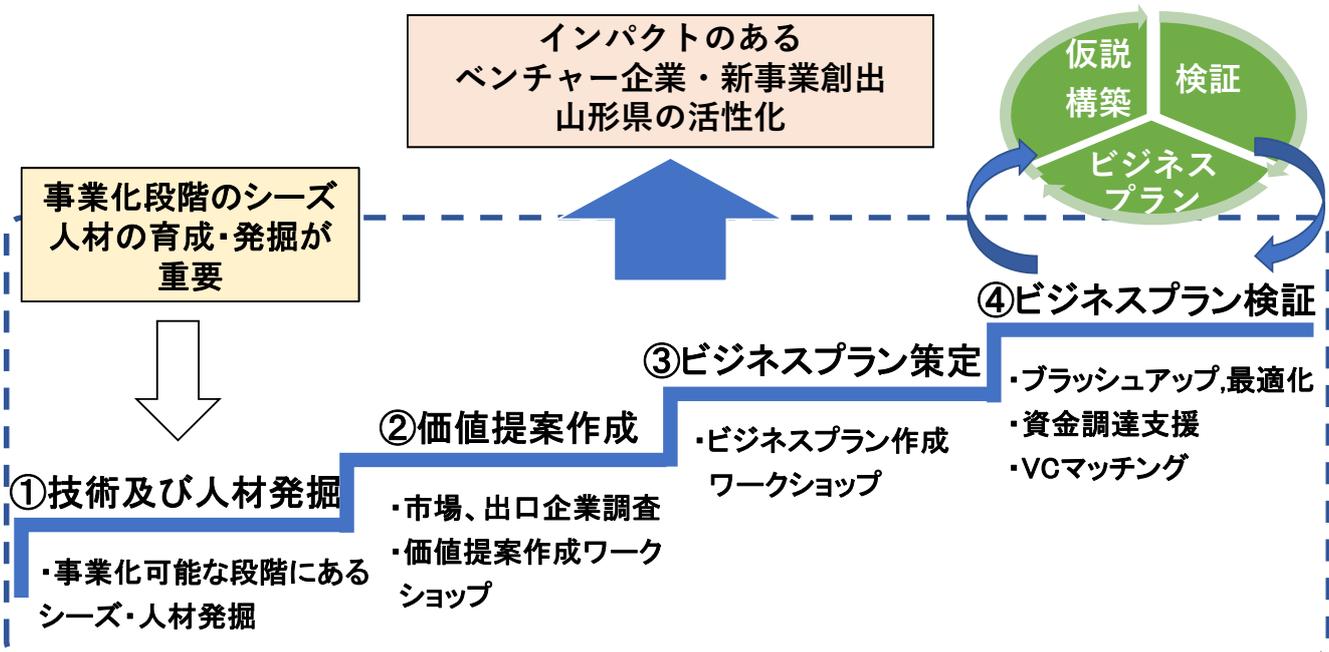
既存プログラムを拡充しながら、下記プログラムを新設する。

- ①実践的育成プログラム ②学生向け起業家養成プログラム



① 実践的ベンチャー育成プログラム

本格的な創業支援・新規事業支援する独自プログラムを実施。
各ベンチャー候補に担当プロデューサーが伴走支援を行う。



学生が気軽に集える“コワーキングスペース”を構築 くイノベーションを創出する人材を恒常的に育成する場づくり >

- ・大学内外、社会で活躍している人との交流を行い、学生一人一人が自らのキャリアデザインを考える場
- ・学生が気軽に使えるオープンな場を提供し、“起業ごっこ”を実施
- ・学生主導でセミナーやイベントのアイデア創出し、主催することで実践力養成



山形大学小白川キャンパス 人文学部3号館・8F ※工学部(米沢キャンパス)にも設置予定

参考：採択されたコンソーシアム

コンソーシアム名	主幹機関	協働機関
“EARTH on EDGE” ～東北・北海道からの 起業復興～	東北大学	北海道大学、小樽商科大学、京都大学、 神戸大学、宮城大学
産官学グローバル連携 によるEDGE NEXTプロ グラム	東京大学	筑波大学、お茶の水女子大学、静岡大学
Tokai-EDGE (Tongali) プログラム	名古屋大学	岐阜大学、名古屋工業大学、三重大学 豊橋技術科学大学 (協力大学：大阪大学)
多様性と創造的協働に 基づくアントレ プレナー 育成プログラム	九州大学	奈良先端科学技術大学院大学、 大阪府立大学、立命館大学 (協力大学：広島大学、福岡大学、崇城大学、 立命館アジア太平洋大学)
EDGE-NEXT 人材育 成のための共創エコシ ステムの形成	早稲田大学	山形大学、滋賀医科学大学、東京理科大学 (協力大学：会津大学、多摩美術大学)

平成29年7月20日
山形大学

シンポジウム 「イタリア人の視点から見た日本の能・狂言の魅力」開催

国を挙げての課題である「日本文化の世界への発信」を実現する第一歩として、外国人にとっての日本文化の魅力を学ぶシンポジウムです。

【実施概要】

日時 2017年8月21日(月) 13:00~15:30

講師 マッテオ・カザーリ

(ボローニャ大学芸術学部准教授・演劇学博士)

日本の能狂言の現代性および現代日本文化の研究者。著書に『日本とイタリアとの対話』(共著)、論文に「能、その伝統の不動の活力」など。



榎本和介(松山能伝承団体「松諷社」)

山本陽史(山形大学学術研究院教授)

会場 酒田市松山城址館(酒田市新屋敷34 0234-61-4885)

主催 山形文化遺産活用事業実行委員会 チェントロ・ポルティコ研究会

共催 生涯学習施設里仁館 酒田市松山城址館 松山能伝承団体「松諷社」

後援 酒田市 酒田市教育委員会 山形大学

その他 講演は英語・逐次通訳有、申込不要・聴講無料

【山形・イタリア戦略的文化交流プロジェクトとは】

2011年 山形大学特別プロジェクトとして「ボローニャの会」がスタート

2014年 上記を母体として、ボローニャと山形の交流を通して山形の町作りを考える市民の会「チェントロ・ポルティコ研究会」結成、交流活動実施
ボローニャ市で俳句ワークショップを開催(2015, 2017も開催)

2015年 ボローニャ大学芸術学部のマンツォーリ教授を招へい

2016年 イタリアの世界遺産管理者マウロ・フェリコーリ氏を招へい
ボローニャ東洋美術研究所所蔵日本美術作品調査開始

2017年 ボローニャ東洋美術研究所アレッサンドロ・グィディ所長を招へい

(お問合せ先)
山形文化遺産活用事業実行委員会
(事務局: 山形大学附属博物館)
電話 023-628-4930
E-mail: hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



清経

申込不要
聴講無料

タイムテーブル

13:00~13:10 「ポローニャと山形の交流について」
山本陽史（山形大学学術研究院教授）

13:10~14:10 逐次通訳有

「イタリア人の視点から見た日本の能・狂言の魅力」
マッテオ・カザーリ（ポローニャ大学芸術学部准教授・演劇学博士）

14:10~15:30 〈休憩〉

14:30~15:10 **ディスカッション** マッテオ・カザーリ
榎本和介（松山能伝承団体「松諷社」会長）
山本陽史



榎本和介
松山能伝承団体「松諷社」会長



山本陽史
山形大学学術研究院教授



マッテオ・カザーリ
ポローニャ大学芸術学部准教授・演劇学博士

シンポジウム イタリア人の視点から見た 日本の能・狂言の魅力

主催 山形文化遺産活用事業実行委員会 チェントロ・ポルティコ研究会
共催 生涯学習施設里仁館 酒田市松山城址館 松山能伝承団体「松諷社」
後援 酒田市 酒田市教育委員会 山形大学

2017年 **8月21日** (月)
13:00~15:30 (開場 12:30)
酒田市 松山城址館
(酒田市字新屋敷 34 tel. 0234-61-4885)

お問合せ

山形文化遺産活用事業実行委員会（事務局 山形大学附属博物館）
tel. 023-628-4930 (受付時間 平日 9:30 ~ 17:00)
mail. hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成29年7月20日
山形大学

SCITAセンター学生スタッフが子どもたちの自由研究をサポートします

SCITA（サイタ）センター※では、小学生の夏休みの自由研究をサポートする活動を行っています。今年は、7月31日（月）から8月4日（金）までの5日間で約20人の子どもたちの自由研究に協力します。どんなことを研究すればいいのかという相談から、どんな方法で実験をすればいいのか、まとめ方はどうしたらいいのか、といった悩みを解決するために、学生スタッフが一緒に考えていきます。

SCITAセンターでは、SCITAセンター学生スタッフとして所属する約60名の学生たちが、地域のイベントで理科実験を行うなど、科学を通じた地域との交流を積極的に行っています。

毎年、夏休みには小学生の自由研究をサポートする活動を行っており、昨年度は、5日間で延べ43人の小学生のサポートを行いました。今年度も約20人の申込があり、期間中は、学生スタッフ約10人が指導にあたります。



■実施概要

期間：7月31日（月）～8月4日（金）

時間：10：00～17：00

対象：小学1年生～6年生

（募集は締め切りました。）

内容：自由研究に関する相談、
実験の実施補助など



※ SCITAセンターは、理科学習の普及活動を促進するための本学独自の「やまがた未来科学プロジェクト」に基づき、科学的思考能力を備えた将来の山形あるいは日本を支える人材を育成する目的で設置されました。小学生から大人まで、全県民を対象に開催する体験型の科学実験教室プログラムが提供できる施設として、毎年、小学生から高校生、教員研修等で1000人を超える人が訪れています。

（お問合せ先）
山形大学SCITAセンター
電話 023（628）4517

平成29年7月20日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 山形大学文化ホールで<キャンパスコンサート2017>を開催します

山形大学文化ホールでは、オープン以来、毎年市民向けのコンサートを学生達が企画しており、今年度も3回にわたって魅力的なプログラムを用意しました。

第1回：オペラへの誘い

ーラ・ボエーム、フィガロの結婚 ほか名場面集ー 7月30日（日）14：00から

第2回：山形が生んだ音、音楽

ー佐藤敏直（鶴岡市出身）の音楽ー 10月 1日（日）14：00から

第3回：3台ピアノの饗宴

ーピアノの新たな挑戦ー 11月18日（土）14：00から

2. 「山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラム」短期受け入れ研修を実施します

平成27年度に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択された『山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラム』では、ペルー、ボリビア、チリの主要大学と山形大学、米沢栄養大学、鶴岡工業高等専門学校との間で、人材育成プログラムを実施しています。

この度、7月31日（月）～8月14日（月）にかけて、ペルー、ボリビア、チリから計10人の留学生を受け入れ、短期研修を実施します。

3. 高校生対象特別プログラム『生物の多様性を考える』を開催します

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI

日 時：9月16日（土）9：00～15：15

会 場：山形大学農学部3号館

対 象：高校生/定員20名

参加費：無料

申込み：必要【9月1日（金）まで】

4. 「夏だ！科学体験教室」を開催

「やまがた『科学の花咲く』プロジェクト」では、県内各地で子どもたちを対象とした科学体験教室を開催しています。今年も9回目の「夏だ！科学体験教室」を開催します。

日 時：7月30日（日） 10時～15時

場 所：イオンモール三川ショッピングセンター（山形県東田川郡三川町大字猪子字和田庫128-1）

5. 山形大学農学部「研究シーズ集2017」刊行のお知らせ

日頃の研究成果を地域社会に発信し、新たな技術・事業の創出に寄与することを目的に農学部では、「山形大学農学部研究シーズ集」を刊行しました。

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎オープンキャンパス2017

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/event/opencampus2017/>

- ◆飯田キャンパス(医学部) :平成29年7月29日(土)
 - ◆鶴岡キャンパス(農学部) :平成29年7月30日(日)
 - ◆米沢キャンパス(工学部) :平成29年8月4日(金)
 - ◆小白川キャンパス :平成29年8月11日(金・祝)
- (人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部)



◎アカデミックキャンプ2017

https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/event/guide/20170614_01/

- ◆農学部 :平成29年7月31日(月)
- ◆工学部 :平成29年8月3日(木)～4日(金)
- ◆理学部 :平成29年8月5日(土)～6日(日)
- ◆人文社会科学部 :平成29年8月8日(火)～9日(水)

※地域教育文化学部は10月に実施



◎ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI (小中学生向け)

https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/event/guide/20170628_01/

- ◆活性化する蔵王山 研究者の調査について行こう! :平成29年7月30日(日)
- ◆見て・聞いて・測って納得! 放射線 :平成29年8月5日(土)
- ◆のぞいてみよう、生き物のいとなみ :平成29年8月6日(日)
- ◆未来の光、有機ELを自分でつくる (※) :平成29年8月3日(木)
- ◆3Dプリンタで探る音のヒミツ (※) :平成29年8月5日(土)

※工学部長記者懇談会でご案内したものです。



平成29年7月20日
山形大学

山形大学文化ホールで<キャンパスコンサート2017>を開催します

山形大学文化ホールは、「地域と大学をつなぐ文化の創造の拠点」として、大学の教育・研究の成果を地域に向けて発信し、大学と地域との協働的活動を展開する場として2014年に設置されました。

オープン以来、毎年市民向けのコンサートを学生達が企画しており、今年度も3回にわたって魅力的なプログラムを用意しました。皆様のご来場を心からお待ちしております。

第1回は、「オペラへの誘い」と題してプッチーニ作曲<ラ・ボエーム>、モーツァルト作曲<フィガロの結婚>など、オペラの名場面の数々をお贈りします。

第2回は、恒例となりました「山形が生んだ音、音楽」です。今年度は鶴岡市出身の作曲家、佐藤敏直の音の世界をとり上げました。

第3回は、山形では初の試みとなる「3台ピアノの饗宴」です。独奏楽器であるピアノが3台集まるとどのような響きがするのでしょうか。きっとオーケストラにも負けない豊かで繊細な音楽の世界が繰り広げられることでしょう。

第1回	オペラへの誘い —ラ・ボエーム、フィガロの結婚 ほか名場面集—	7月30日(日) 14:00から
第2回	山形が生んだ音、音楽 —佐藤敏直(鶴岡市出身)の音楽—	10月1日(日) 14:00から
第3回	3台ピアノの饗宴 —ピアノの新たな挑戦—	11月18日(土) 14:00から

(お問合せ先)
学術研究院 教授
佐川 馨(地域教育文化学部担当)
TEL 023-628-4332

キャンパスコンサート2017

会場：山形大学文化ホール

入場料：無料

開場 13:30 開演 14:00

第1回 7月30日(日)

オペラへの誘い —ラ・ボエーム、フィガロの結婚 ほか名場面集—

プッチーニ / <ラ・ボエーム>より“告別の四重唱”、<蝶々夫人>より“花の二重唱”

モーツァルト / <魔笛>より“ム、ム、ム”、<フィガロの結婚>より“すべては静かにして穏やか”

ほか

第2回 10月1日(日)

山形が生んだ音、音楽 —佐藤敏直の音楽—

<四手のためのディベルティメント>より

<ピアノのためのイメージ曲集「スケッチブック」>より

混声合唱組曲<最上川の四季>—交響讃歌「やまがた」—より ほか

第3回 11月18日(土)

3台ピアノの饗宴 —ピアノの新たな挑戦—

ホルスト / 組曲<惑星>より“木星”

モーツァルト / <四手のためのピアノソナタ ハ長調>

k.521 第1楽章

ラフマニノフ / <交響的舞曲> 第3楽章 ほか

主催 / キャンパスコンサート実行委員会

この事業は大学院(文化創造専攻音楽芸術分野)の授業「音楽活動支援論」及び学部(音楽芸術コース・児童教育コース)の授業「フィールドプロジェクトII」の受講者が企画運営しています。

お問合せ / 地域教育文化学部 佐川 馨

☎023-628-4332

ピクニックコンサート

小学生以下の子どもたちを対象にした楽しい音楽会です。開催日程や曲目等はお問い合わせください。

お弁当とおやつを持ってピクニックコンサートに行こう!



- 一回の入場者数は引率の先生、保護者を含めて100名までとなります。
- 曲の解説や楽器紹介など、お話を交えながら進行する楽しいコンサートです。
- ご希望に応じて、子どもたちが演奏する時間を設けることもできます。

申し込み

2017年8月末まで

下記に直接お申込みください。

佐川 研究室

☎023-628-4332
sagawa@e.yamagata-u.ac.jp

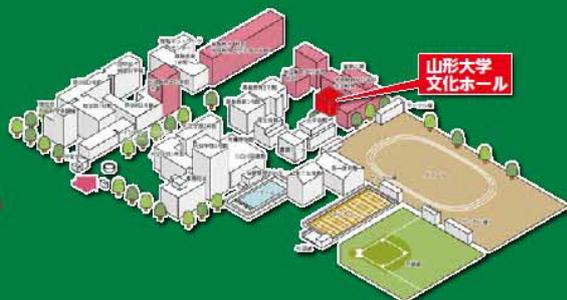
JR山形駅から
東方へ約2km

山形大学小白川キャンパス

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 TEL.023-628-4304

- JR山形駅前から県庁行きで山形南高校前(山大入口)下車、そこから徒歩5分。
- JR山形駅前から高連バス(約65分)で山形南高校前(山大入口)下車、そこから徒歩5分。
- JR山形駅前から徒歩(約20分)

※構内の案内板は正面付近にご覧いただけます。車でおいでの方は北側駐車場をご利用できます。



平成29年7月20日
山形大学

「山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラム」 短期受入れ研修を実施します

平成27年度に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択された『山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラム』では、ペルー、ボリビア、チリの主要大学と山形大学、米沢栄養大学、鶴岡工業高等専門学校との間で、人材育成プログラムを実施しています。この度、7月31日（月）～8月14日（月）にかけて、ペルー、ボリビア、チリから計10人の留学生を受け入れ、短期研修を実施します。

1. 山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラムの概要

アンデス諸国3カ国（ペルー、ボリビア、チリ）の主要6大学と、県内の教育機関（山形大学、米沢栄養大学、鶴岡工業高等専門学校）との間で、学生の交流を深めながら事業を展開します。両地域で求められる各種開発に関連する国際プロジェクトの推進に貢献できる有能な人材、日本と中南米諸国との間でブリッジになりうる国際人材の輩出を目指して次活動に取り組んでいます。

- (1) 南米3カ国における日本語講座の開設とその運営。
- (2) 山形大学におけるスペイン語クラスの開設とその運営。
- (3) 短期・長期交換留学（日本人学生とアンデス諸国の学生の相互交流）等
- (4) 講演会の開催

2. 今回の研修について

〈概要〉

主に山形県内で研修を行い、日本の工業技術、産業開発、環境保全、社会福祉、歴史・文化などについて学習します。日本人学生と共同で取り組む研修プログラムなどを通じて、両国間の学生がお互いについての理解を深めます。また国際理解を促進し、プログラムが目標とする人材育成を行います。8月10日（木）14：00～17：00には過去も含めたプログラム参加者全員による活動成果報告会を予定しています。

〈参加学生〉

今回の短期受入れプログラムの参加者内訳は以下の通りです。

ペルー：教皇庁立ペルー・カトリカ大学3名、国立工科大学1名、国立サンマルコス大学1名、ラ・モリーナ国立農業大学1名

ボリビア：国立サン・アンドレス大学、2名

チリ：国立タルカ大学、2名 ※スケジュールの詳細は裏面をご覧ください。

（お問合せ先）

人文社会科学部DTP推進室

コーディネーター 千原聡

電話 023-628-4779

e-mail honbu-dtp@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.yamagata-u.ac.jp/dtp/>

「山形・アンデス諸国」ダブル・トライアングル・プログラム

短期受入研修

日		午前	午後
7月31日	(月)	各国より成田・仙台經由山形着	
8月1日	(火)	開講式・オリエンテーション	講義①地方創生と山形大学の役割 講義②東北地方の経済 講義③山形県と日本文学 南米学生によるプレゼンテーション
8月2日	(水)	講義④山形大学のナスカ研究 文翔館	山形県立博物館 産業博物館 山形→米沢に移動
8月3日	(木)	高齢者福祉施設見学	NECパーソナルプロダクツ 工学部重要文化財見学
8月4日	(金)	研究室紹介 工学部オープンキャンパス	米沢栄養大学における講義と研修
8月5日	(土)	INOEL・スマートみらいハウス	講義⑤東日本大震災と災害ボランティア 米沢市内の文化体験
8月6日	(日)	米沢→鶴岡に移動 松ヶ丘開墾場、楽朋館、横綱柏戸記念館、王祇会館・春日神社	
8月7日	(月)	講義⑥Horticulture in Japan 講義⑦Introduction to quantitative microbial risk assessment	鶴岡浄化センター 鶴岡市クリーンセンター
8月8日	(火)	(株)ヨロズエンジニアリング 鶴岡高専ウェルカムパーティー	⑧鶴高専の技術、就職事情 ⑨環境問題
8月9日	(水)	チャーターバスで鶴岡→小白川移動	まとめ
8月10日	(木)	まとめ	DTP成果発表会@人文社会学部103教室 送別会@厚生会館
8月11日	(金)	男山酒造 山形→本宮に移動	ソニー・エナジー・デバイス本宮事業所 本宮→東京に移動
8月12日	(土)	東京研修	
8月13日	(日)	東京研修	
8月14日	(月)	東京→成田移動	各国に向けて日本出発

※上記は予定であり、事情により一部変更をする可能性があります。



文部科学省「大学の世界展開力強化事業」
採択プログラム

「山形・アンデス諸国」 ダブル・トライアングル・プログラム 2年間の活動成果報告会

開催日

平成29年 8月10日(木)

開催場所

山形大学小白川キャンパス人文社会科学部
1号館1階103号教室



スケジュール

13:30 受付開始
14:00~17:00 活動成果報告会
17:30~19:30 情報交換・懇親会@厚生会館*
(*のみ別途予約・会費必要)

【参加大学】

(ペルー) カトリカ大学、サンマルコス大学、工科大学、
ラ・モリーナ農業大学(ボリビア) サンアンドレス大学
(チリ) タルカ大学(日本) 山形大学、米沢栄養大学、
鶴岡工業高等専門学校

南米協定6校との交流拡大を目指し平成27年10月より始まったダブル・トライアングル・プログラムでは、これまで語学授業開講の他、40名の交換留学を実現しています。来日中の南米からの留学生も参加して、今回2年間の活動報告会を行うことになりました。日本からは遠隔の地ですが、話を聞けば留学がグッと身近に感じられます。国際交流全般やラテン文化、そしてスペイン語に興味のある方はふるってご参加下さい。

(使用言語：英語)

◆お問い合わせ◆

山形大学人文社会科学部
DTP推進室 千原・大場
電話：023-628-4779
メール：honbu-dtp@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
HP：<https://www.yamagata-u.ac.jp/dtp/>

平成29年7月20日
山形大学

高校生対象特別プログラム『生物の多様性を考える』を開催します ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI

現在活躍している研究者と大学の最先端の研究成果の一端を高校生が見る、聞く、触れることで、学術と日常生活との関わりや、科学（学術）がもつ意味を理解してもらうプログラムです。普段はめったに見ることができない大学の研究や研究者との対話などから科学の楽しさ、難しさ、不思議に触れて、科学に関心を持つことを目的とします。

◆プログラムの内容

生物の進化や生物圏における生命の維持のためには、生物の多様性がとても重要です。なぜなら、生物（微生物、植物、動物）は、個々に生きているわけではなく、他の生物種とともに生存競争のもとで相互依存的に生息しているからです。

そこで本プログラムでは、最初の土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用についてインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介します。そして、土壌微生物や昆虫の観察、植物の分析などの実験を通して、農学の面白さを皆さんに伝えます。

「生物の多様性を考えるー土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用ー」

日時：平成29年9月16日（土）9：00～15：15（受付8：30より）

会場：山形大学農学部3号館

対象：高校生/定員20名

参加費：無料（昼食付）

申込み：必要【9月1日（金）まで】

※詳細は別添のチラシを参照ください。



（お問合せ先）

農学部企画広報室

電話:0235-28-2911 FAX :0235-28-2836

メールアドレス:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成29年7月20日
山形大学

「夏だ！科学体験教室」を開催

「やまがた『科学の花咲く』プロジェクト」^(※)では、県内各地で子どもたちを対象とした科学体験教室を開催しております。今年もイオンモール三川で「夏だ！科学体験教室」(9回目)を開催します。

イベント概要

- (1) 開催日時 7月30日(日) 10時～15時
- (2) 開催場所 イオンモール三川ショッピングセンター
(山形県東田川郡三川町大字猪子字和田庫128-1)
- (3) 出展内容
 - ・のびーるスライム(スライムマイスター)
 - ・クラゲ観察会(クラゲタッチ、クラゲと写真撮影など)(クラゲマイスター)
 - ・しゅわしゅわ入浴剤を作ろう！(山形大学SCITAセンター学生スタッフ)
- (4) 参加費 無料
(遊べる学べるイベントがいろいろあり、どなたでも参加できます。)
なお、小さなお子様は保護者同伴でお願いいたします。

※「やまがた『科学の花咲く』プロジェクト」とは

地域や家庭で科学の不思議や面白さを教える講師や補助者になっていただくサイエンス・コミュニケーションとして、スライムマイスターやクラゲマイスターなどの養成を行ったり、科学コミュニケーション機会を創出するため、イベントや人が多く集まる場所での科学教室を行ったりしています。独立行政法人科学技術振興機構(JST)の支援により、山形県、県内関係機関とともに地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」として平成21年度から3年間実施して以降、平成24年度からは、大学や県などで継続して事業を進めています。

今後の活動予定等は、ホームページをご覧ください。

<http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/chiiki/event.html>

(お問合せ先)
山形大学SCITAセンター
電話 023(628)4517

夏だ！科学体験教室

場所

イオンモール三川

日時

7月30日(日)
10:00~15:00

参加無料

※小さなお子様は保護者同伴でお願いします

体験内容

☆のびーるスライム

♪スライムマイスター

☆クラゲ観察会

♪クラゲマイスター

☆しゅわしゅわ入浴剤を作ろう！

♪山形大学SCITA学生スタッフ

主催 やまがた『科学の花咲く』プロジェクト（山形大学）
共催 鶴岡市立加茂水族館、鶴岡工業高等専門学校、イオンモール三川
後援 山形県、日新製薬(株)、水澤化学工業(株)



平成29年7月20日
山形大学

山形大学農学部「研究シーズ集2017」刊行のお知らせ

山形大学農学部では、担当教員の研究内容を写真や図で分かりやすく紹介した冊子「山形大学農学部研究シーズ集2017」を作成しました。今後の共同研究・受託研究のテーマ探しなどにご活用いただければ幸いです。

日頃の研究成果を地域社会に発信し、新たな技術・事業の創出に寄与することを目的に農学部では、「山形大学農学部研究シーズ集」を刊行しました。

教員たちがどのような研究活動を行い、それら研究の成果を活かしてどのような地域貢献ができるのかを分かりやすく表現しています。

なお、この内容は、ホームページでも公開しています。



「山形大学農学部研究シーズ集2017」主な項目

- ▶ 農学部担当教員、客員教授（70名）の研究シーズ紹介
- ▶ 農学部アクションプラン2017
- ▶ 学部概要
- ▶ 産学官連携

研究シーズに関するお問い合わせ、興味のある研究者とのマッチング等を希望される方は、下記までご連絡ください。

ホームページは
こちらから →



（お問合せ先）

山形大学農学部企画広報室

電話 0235-28-2910

FAX 0235-28-2836

E-mail nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp